

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(平成21年3月解析分)

1 疾患別定点情報

(1) 定点把握(週報)五類感染症

平成21年2月分(平成20年2月2日～3月1日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	5,756	12.51	15.92	↓	10	百日咳	10	0.03	0.02	
2	RSウイルス感染症	71	0.25	0.57	↓	11	ヘルパンギーナ	2	0.01	0.05	
3	咽頭結膜熱	75	0.26	0.34	→	12	流行性耳下腺炎	71	0.25	0.74	→
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	470	1.63	1.57	→	13	急性出血性結膜炎	2	0.03	0.01	
5	感染性胃腸炎	2,031	7.05	10.47	↘	14	流行性角結膜炎	54	0.71	1.06	↘
6	水痘	457	1.59	1.59	↘	15	細菌性髄膜炎	2	0.02	0.01	
7	手足口病	4	0.01	0.13		16	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.04	
8	伝染性紅斑	52	0.18	0.16	↘	17	マイコプラズマ肺炎	14	0.17	0.21	↘
9	突発性発しん	148	0.51	0.56	↘	18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	

(2) 定点把握(月報)五類感染症

平成21年2月分(2月1日～2月28日)

No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
19	性器クラミジア感染症	55	2.39	1.95	→	23	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	109	5.19	5.32	→
20	性器ヘルペスウイルス感染症	10	0.43	0.52		24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	27	1.29	1.84	↗
21	尖圭コンジローマ	8	0.35	0.47		25	薬剤耐性緑膿菌感染症	2	0.10	0.11	
22	淋菌感染症	16	0.70	0.65	↘						

「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当り)
報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

急増減疾患!!(前月比2倍以上増減)

急減疾患 インフルエンザ(13,404件 5,756件)
急減疾患 RSウイルス感染症(144件 71件)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象21疾患,月報対象7疾患)について,県内178の定点医療機関からの報告を集計し,作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13,14	19～22	15～18,23～25	
定点数	43	72	19	23	21	178

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	43	結核〔広島市保健所(14),福山市保健所(8),呉市保健所(2),広島地域保健所(6),呉地域保健所(1),東広島地域保健所(2),尾三地域保健所(8),備北地域保健所(2)〕
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症(O26)〔芸北地域保健所〕
四類	2	レジオネラ症(1)〔備北地域保健所〕, つつが虫病(1)〔備北地域保健所〕
五類全数	5	後天性免疫不全症候群(1)〔広島市保健所〕, 風しん(1)〔福山市保健所〕 麻しん(2)〔広島市保健所, 広島地域保健所〕, クロイツフェルト・ヤコブ病(1)〔広島市保健所〕

3 一般情報

(1) 麻しん(はしか)について

麻しん(はしか)は、昔「命定めめの病」とも呼ばれ、子供の命を奪う疾患として恐れられてきました。医療の進歩した現在でも、その重篤性には変わりはなく、発症した場合には死に至る危険性もある重大な疾患で、毎年2月から6月にかけて流行します。

麻しんの症状等

- ・ 空気感染・飛沫感染であり感染力が非常に強い。
- ・ 感染後の潜伏期間は10～12日であり、その後に発症する。
- ・ 38 くらいまで発熱し、その後熱が下がるが、また高熱が出るようになる。
- ・ 症状としては風邪によく似ているので間違えやすい。
- ・ せきが出て発熱。この時期に他の人にうつす可能性が最も高い
- ・ 2回目の発熱時に顔を中心に発疹がはじまり全身に広がる。

麻しんの治療法及び予防

麻しんウイルスに対する直接的な治療法はなく、症状を楽にする治療(対症療法)や、合併症があればそれに対する治療が行われます。

麻しんの予防をするためには、予防接種を受けることが最も効果的です。

麻しんにかかったかなと思ったら...

早めに医療機関を受診しましょう。周りに麻しんにかかった人がいて、風邪のような症状や熱が出た場合は、医療機関に電話で「麻しんにかかっているかもしれない」ことを伝えてから受診しましょう。



(2) 麻しん・風しんの定期予防接種対象者(平成20～24年度)について

第1期・・・ 生後12ヶ月以上24ヶ月未満の者

第2期・・・ 5歳以上7歳未満の者で小学校入学前の1年間

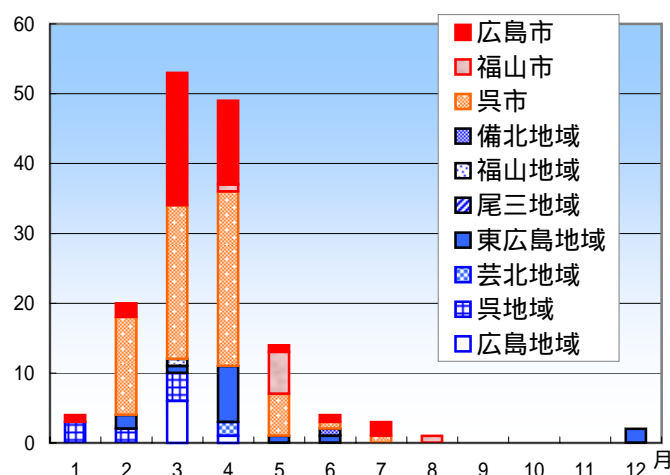
第3期・・・ 中学1年生に相当する年齢の者(年度内に13歳になる者)

第4期・・・ 高校3年生に相当する年齢の者(年度内に18歳になる者)

平成20年度の対象(第2～4期)の方は平成21年3月31日までは無料で接種できます。機会を逃さず、必ず受けましょう。

定期予防接種はお住いの市町で実施する事業です。詳しくはお住いの市町へお問い合わせください。

人 広島県麻しん発生状況【平成20年地域(保健所)別】



麻しん患者年齢別割合(平成20年・広島県内)

